

令和5年度 児童アンケートの結果とまとめ

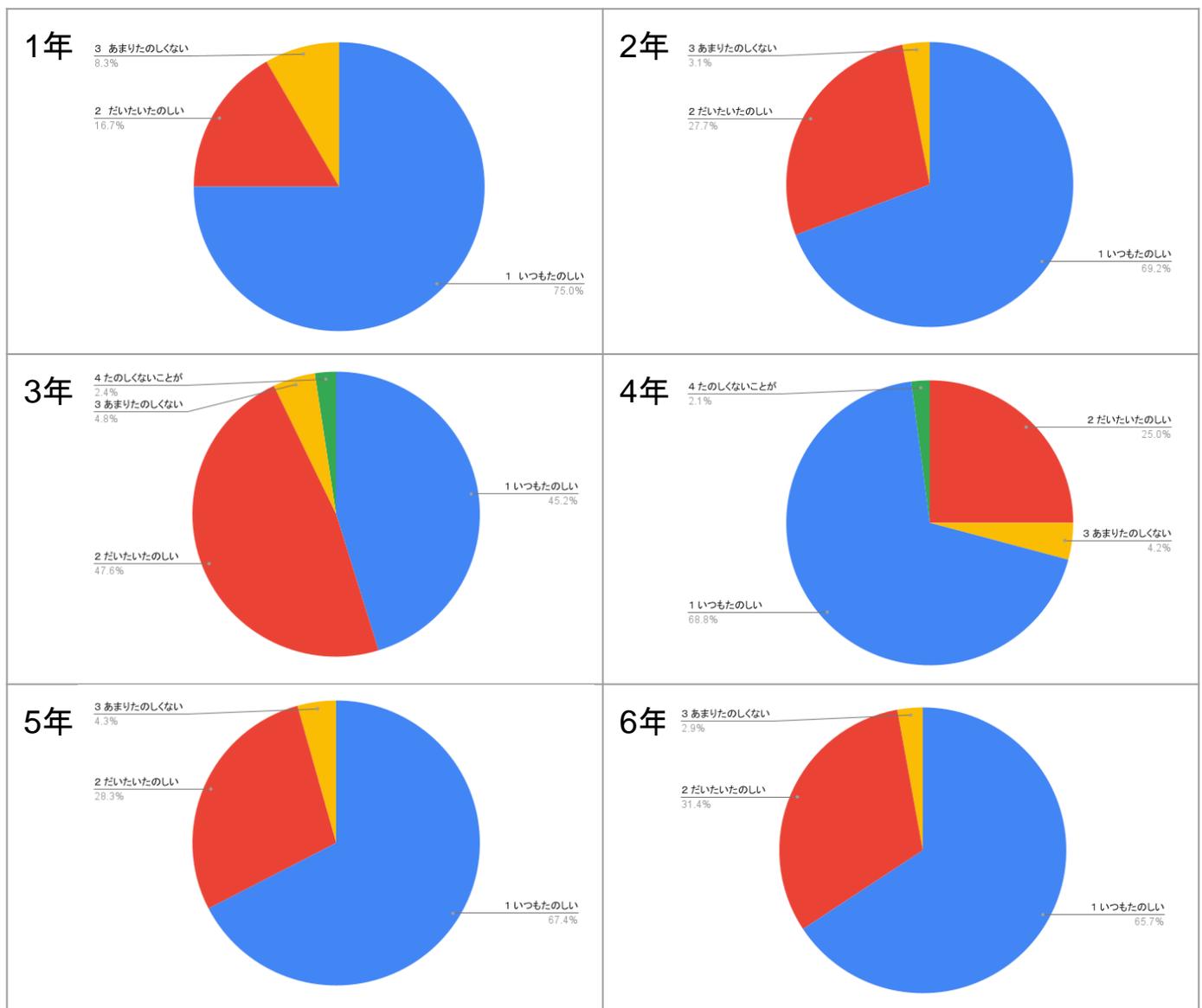
調査実施期間： 令和5年12月11日～20日

各設問ごとの回答

- ・各学年ごとに回答を集計しました。
- ・左側のグラフは昨年度後期の結果です。
- ・右側が今年度の結果です。

- 1.いつもたのしい
- 2.だいたいたのしい
- 3.あまりたのしくない
- 4.たのしくないことがおおい

1 学校は楽しいですか。

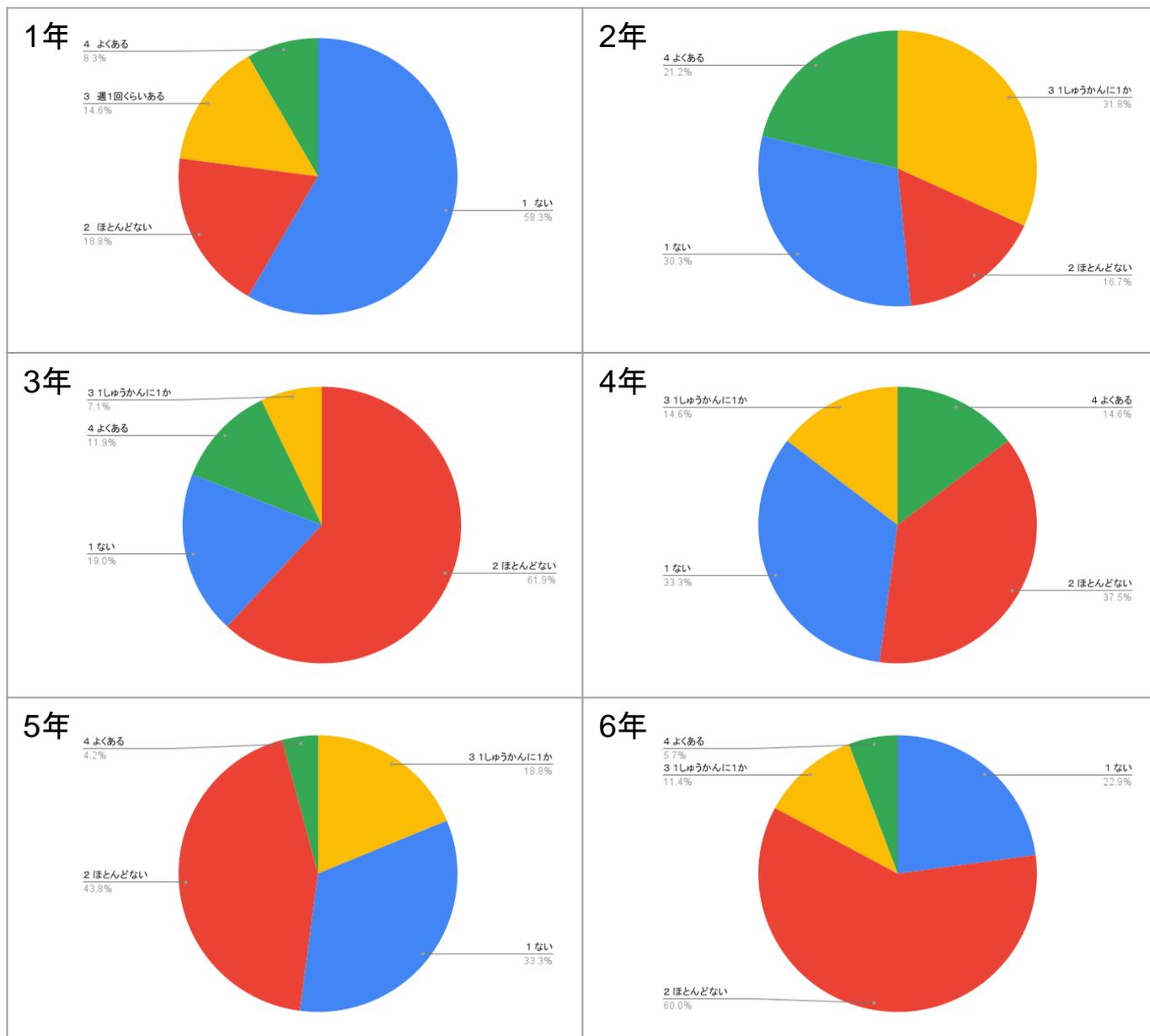


まとめ

- ・昨年度と同様、「いつも楽しい」「大体楽しい」がほとんどを占めている。
- ・「あまりたのしくない」「たのしくない」と答えた理由としては、友達関係の不満や勉強に対する苦手意識が挙げられている。
- ・Q-Uアンケートやいじめアンケートも活用して、自己肯定感を高める授業づくりや学級集団づくりへの取り組みを続けていく。

2 学校へ行きたくないと思 ったことがありますか。

- 1.ない
- 2.ほとんどない
- 3.しゅうに1かいくらいある
- 4.よくある

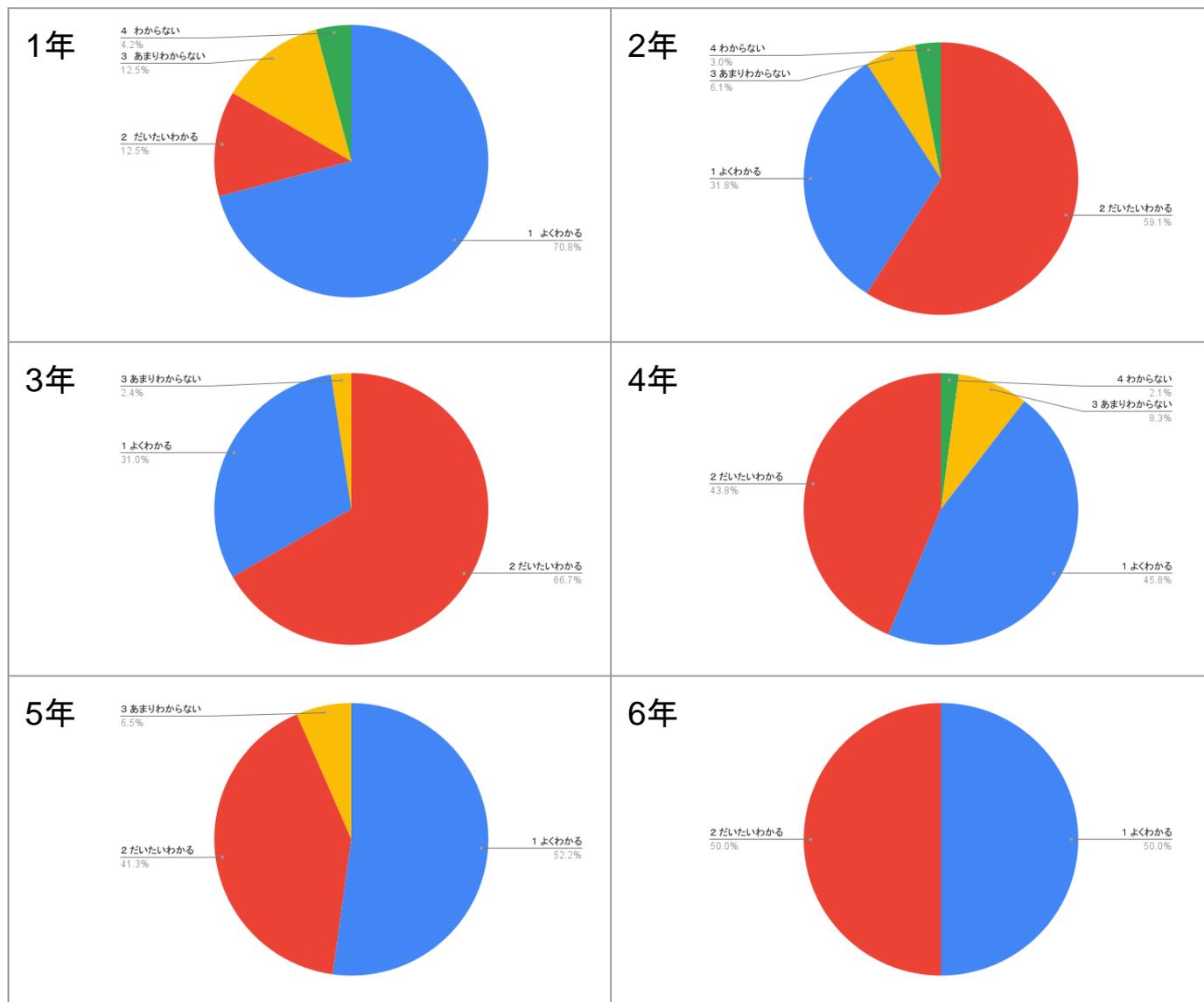


まとめ

- ・「よくある」「1週間に1回くらいある」と回答した児童は全校で74人だった。理由としては眠いから、遊びたいから、家にいたい、疲れるから、ゲームをしたいから、などの怠学傾向のものが多く、友達関係が嫌、勉強がわからないから、などを挙げる児童もいる。
- ・Q-Uアンケートなどの児童質問紙調査も活用し、学級の中で嫌な思いを感じている児童について早期に発見し、対応を行っていくことが大切だと考える。
- ・怠学傾向がみられる児童は、基本的な生活習慣が身につけていないことが多いと感じる。家庭への働きかけを行い、基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、ゲームのやりすぎやSNS依存などが起こらないような指導も行っていく。
- ・本校では不登校の状態にある児童はいない（病気や出席停止による欠席を除く）。これは全職員が児童が休まず通いたくなるような楽しい学校づくりに努めてきたことおよび、児童の様子をしっかりと把握し、保護者と緊密且つ丁寧に連絡をとって指導を行ってきたことの成果である。今後もすべての児童にとって安心して楽しく過ごせる学校を目指していく。

3 学校の勉強が、分かりますか。

- 1.よくわかる
- 2.だいたいわかる
- 3.あまりわからない
- 4.わからない

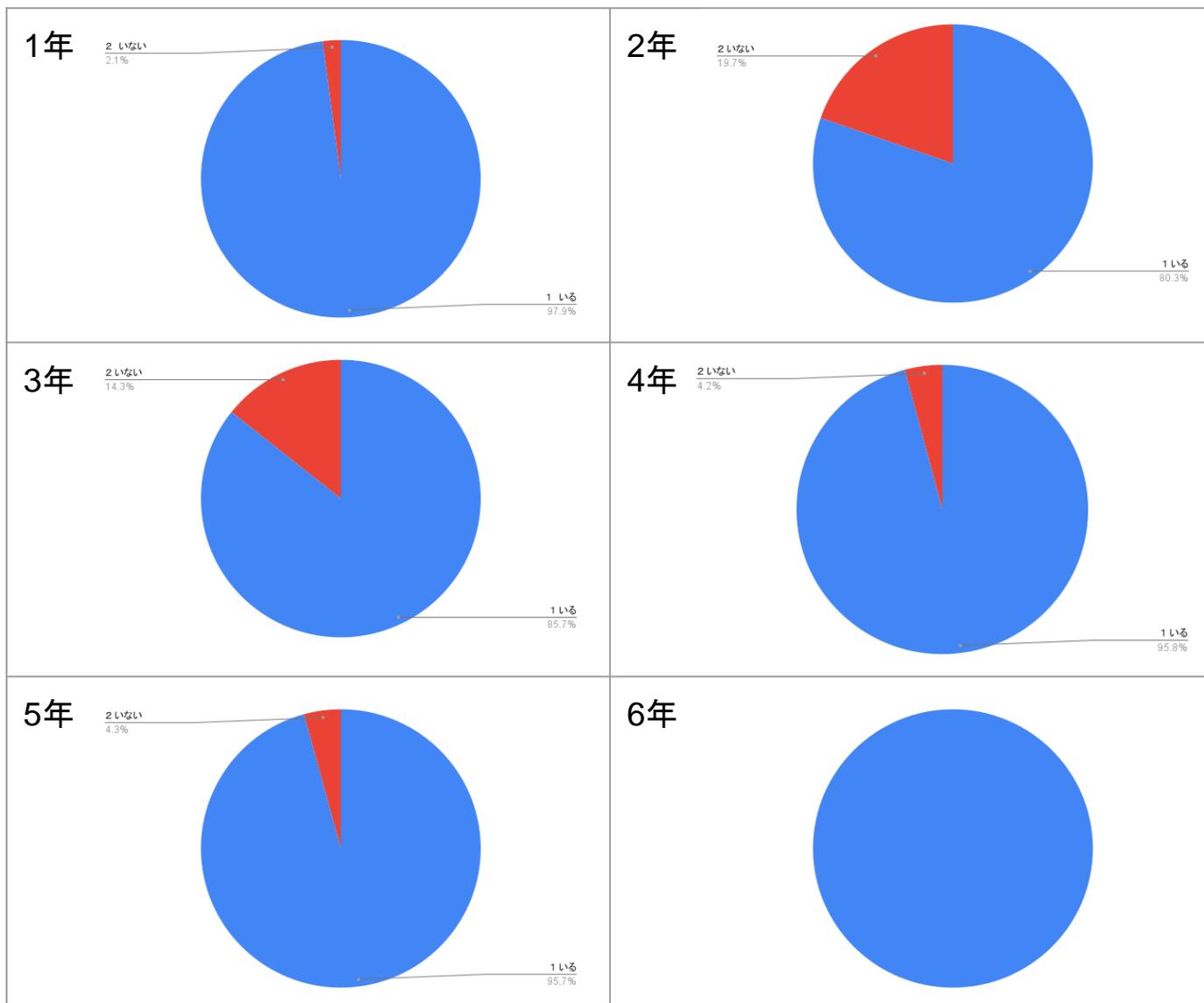


まとめ

- ・ほとんどの児童が学校の勉強が「よくわかる」「だいたいわかる」と肯定的な回答をしており、「わからない」「あまりわからない」と回答したのは15人のみだった。
- ・本校では学習用一人一台パソコンを、授業での活用のみならず、持ち帰って宿題でドリルアプリに取り組むことでも活用している。ICTの積極的な活用を図ることで、児童一人一人の個に応じた学習への取り組みを進めていく。
- ・引き続き「わかる授業」「楽しい授業」「できたと実感できる授業」を目指して日々の授業実践に取り組んでいく。職員全員による授業研究活動や、お互いの授業を参観し合う活動を来年度も行っていきたい。

4 困ったときに相談する人がいますか。

- 1.いる
- 2.いない

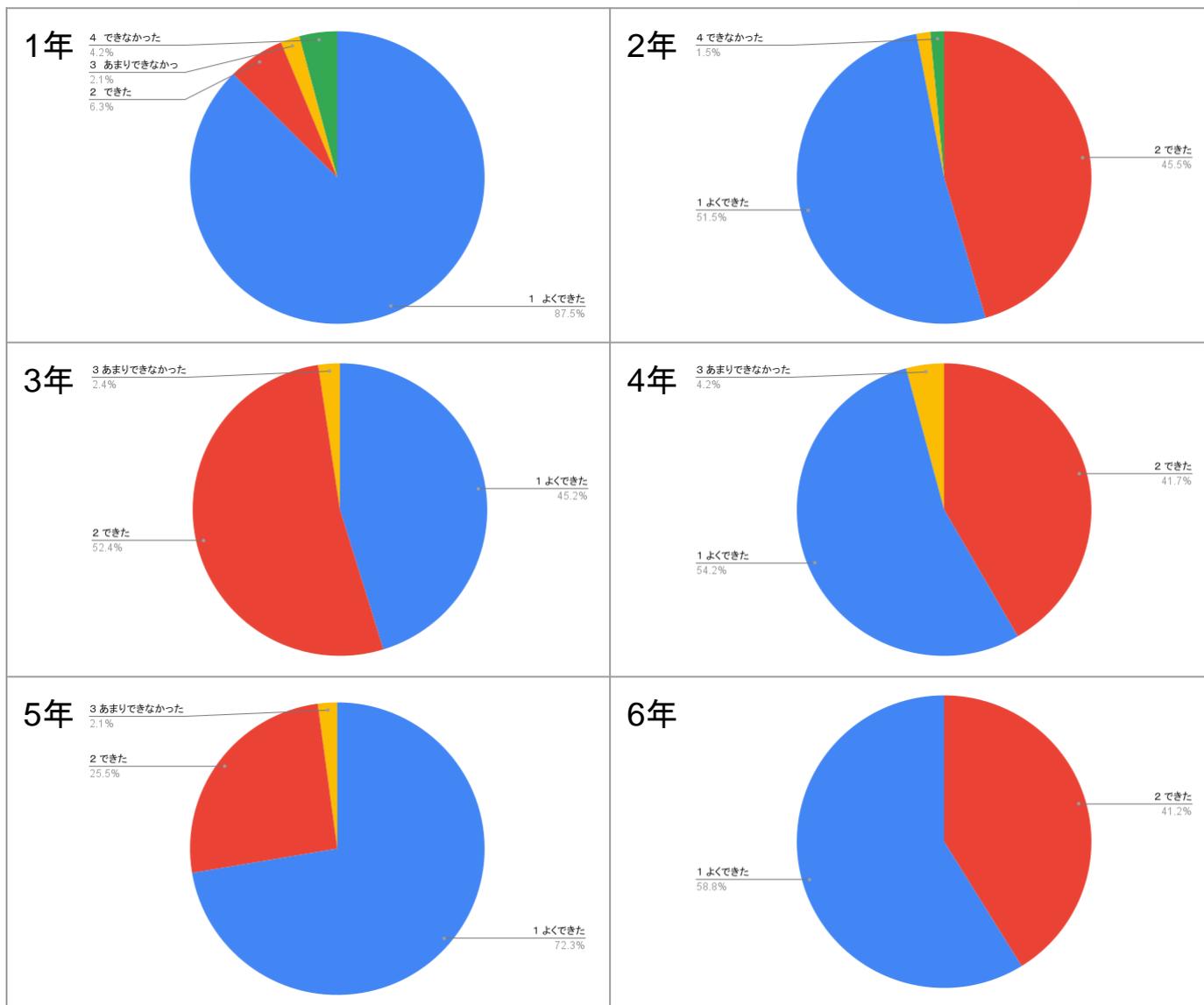


まとめ

- ・相談する人が「いない」と回答した児童は全校で23人だった。
- ・多くの児童は相談する人がいる、と回答している。
- ・相談する相手は、「父母」「先生」「友達」を挙げた児童が多い。
- ・「いない」と回答した児童は、先の質問項目において「学校が楽しくない」「学校に行きたくない」と思うときがある」と回答した児童が多い。つまり、相談相手がいないと感じている児童は、学校生活全般において、満足感が低いものと考えられる。学校生活だけでなく、家庭での状況などにも不満を持っているのかもしれないので、家庭との連携を図りながら、児童の状況をもとっていく必要がある。
- ・相談相手がいない、と感じている児童は、周囲の児童から孤立した状況にある可能性もあるので、クラス内の人間関係についてもフォローしていく。

5 しっかりそうじができましたか。

- 1.よくできた
- 2.できた
- 3.あまりできなかった
- 4.できなかった

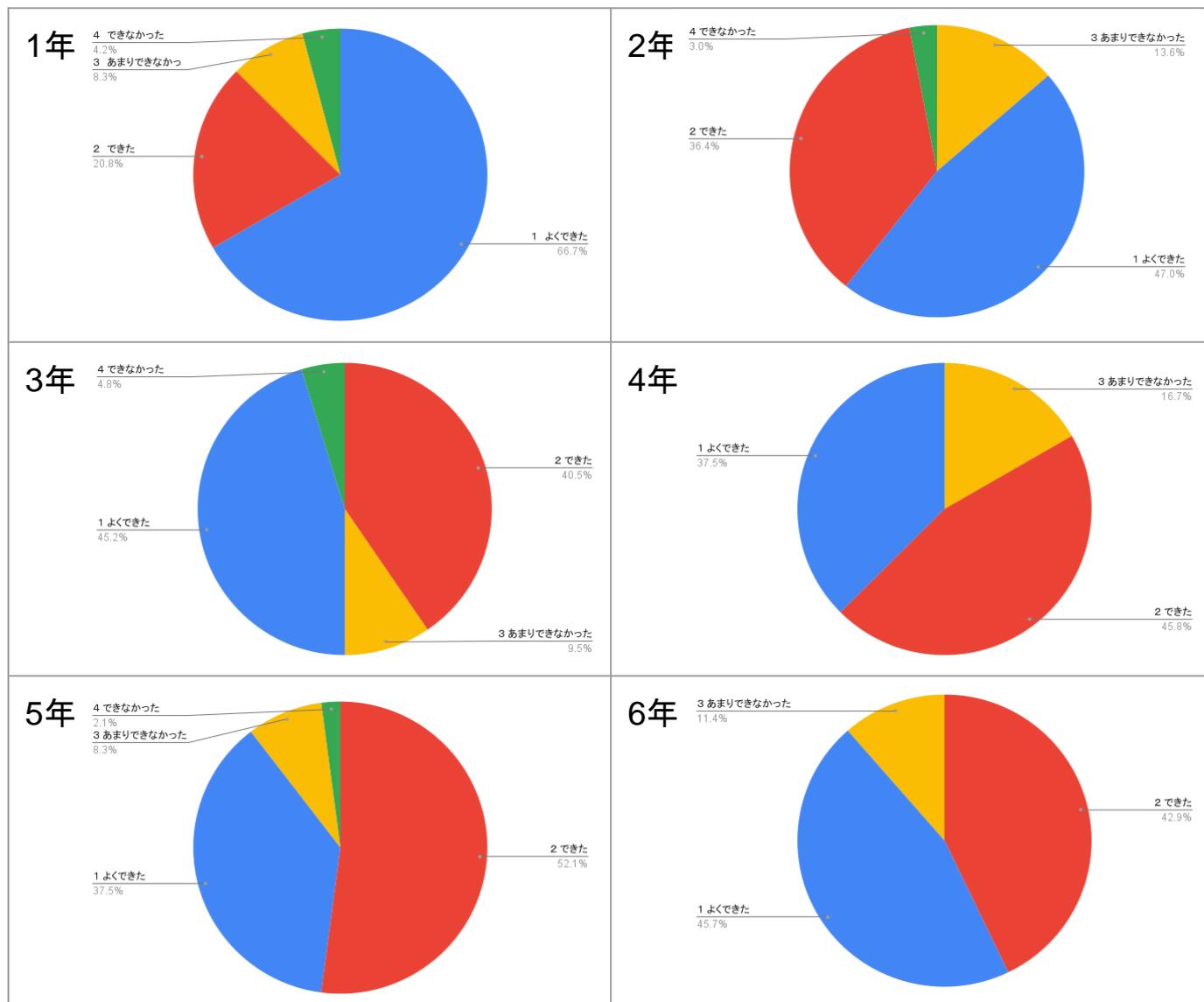


まとめ

- ・どの学年もそうじを「よくできた」や「できた」と肯定的に回答している児童の割合が高い。
- ・「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童は、全校で10名以下だった。
- ・清掃活動にしっかり取り組んでいる様子が見える。

6 すすんであいさつができましたか。

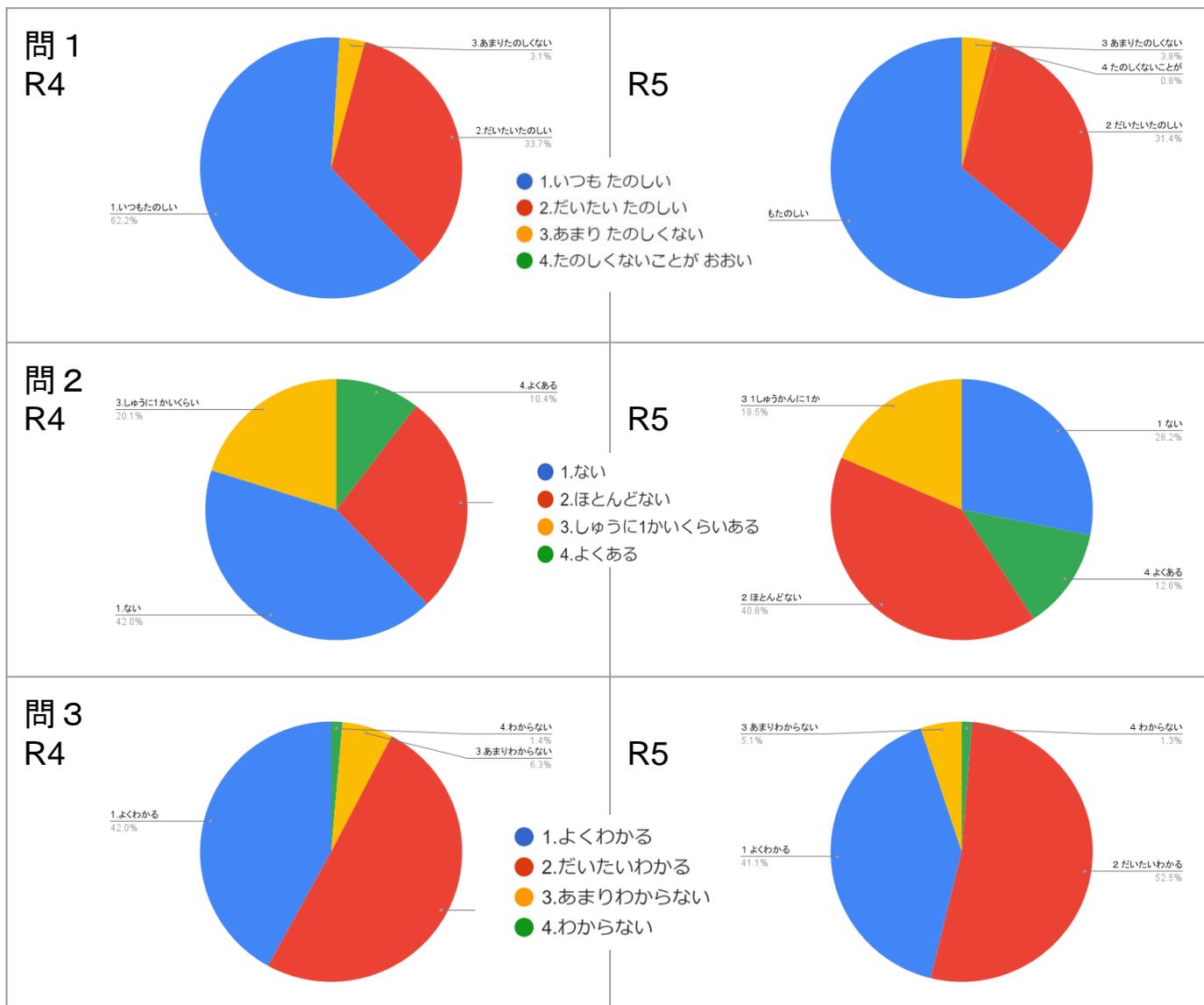
- 1.よくできた
- 2.できた
- 3.あまりできなかった
- 4.できなかった



まとめ

- ・すすんであいさつすることが「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童は全校で34名であった。
- ・質問4の結果と同じで、「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童は、先の質問項目において「学校が楽しくない」「学校に行きたくないと思うときがある」と回答した児童が多い。
- ・進んであいさつすることは、気持ちに余裕がなければできない（これは大人も子どもも同じであろう）。学校生活に不満を感じていたり、家庭においても苦しい状況にあったりする児童にとっては、自分からあいさつするような気持ちの余裕を持ってないことは明白である。そのような児童に対して、自分から進んであいさつしよう、と指導しても、本質的な問題解決にはならない。児童一人一人の状況や、児童の気持ちを丁寧に確認し、きめ細かなフォローを行っていくことが必要になる。スクールカウンセラーや外部相談機関などの活用も必要に応じて行っていかなければならない。

昨年度との比較 設問 1～3 * 全校児童の集計結果の比較

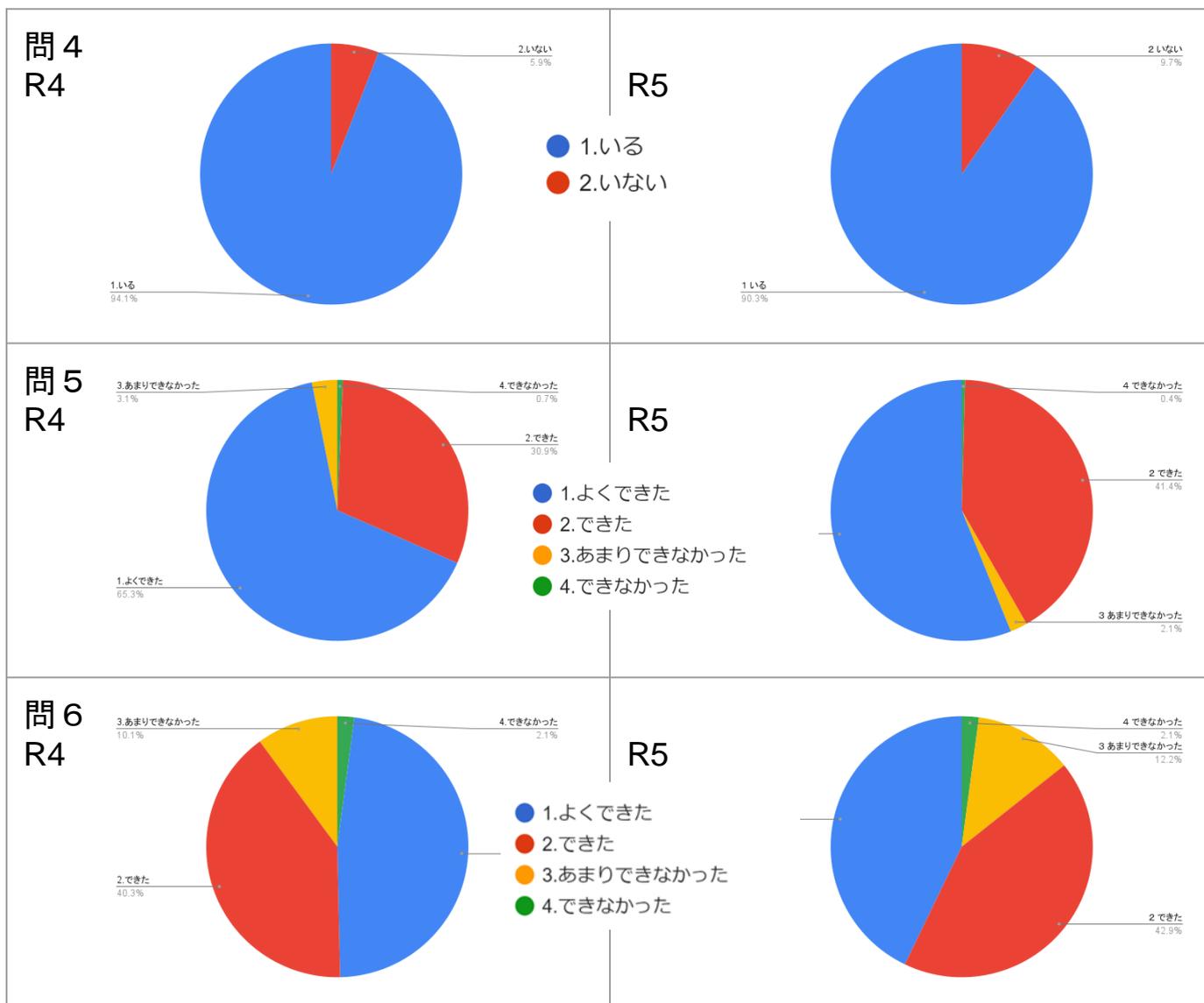


まとめ

- ・ 昨年度の結果と今年度の結果に大きな差はない。
- ・ 昨年度から今年度にかけて、安定して同様の傾向が続いていると考えられる。

昨年度との比較 設問 4～6

* 全校児童の集計結果の比較



まとめ

- ・ 昨年度の結果と今年度の結果に大きな差はない。
- ・ 昨年度から今年度にかけて、安定して同様の傾向が続いていると考えられる。